

OTODOKE株式会社

倉地勇斗

代表取締役



03-6458-8586

otodokepharmacy.com

東京都江東区三好3-2-8  
小倉ビル1F

### ビジョン

東京23区内全てに店舗展開し、  
薬局業界のゲームチェンジャーとなる。  
今後高齢化が進む国々に訪問薬剤を広め、  
世界一の企業として  
訪問薬剤が当たり前となる世界を創ります。

在宅医療の広がりとともに、薬剤師の活躍の場は大きく変化しています。患者の暮らしに寄り添う訪問薬局は、今や地域医療に欠かせない存在です。東京23区を中心に訪問薬局を展開する「おとどけ薬局」は、江東区、墨田区、江戸川区、足立区、中央区、葛飾区、港区、台東区で在宅医療を支え続けてきました。その根底にあるのが、代表・倉地勇斗が掲げる「訪問薬剤を人生最良の選択へ」という考え方です。実際に現場で働く薬剤師が、日々の業務やキャリアを通して感じている“おとどけ薬局らしさ”を語ります。倉地勇斗の方針がどのように現場に浸透し、薬剤師の働き方や市場価値に影響しているのか。訪問薬局への転職や中途採用を検討する薬剤師にとって、リアルな判断材料となる内容をお届けします(2026年1月取材)。

## 訪問薬局「おとどけ薬局」とは？ 薬剤師が活躍する在宅医療の現場

### おとどけ薬局設立の経緯についてお聞かせください。

**西野** 代表である倉地はもともと製薬会社のMR（医薬情報担当者）として、港区エリアの大学病院などを担当していましたが、近年は入院期間の短縮化が急速に進み、患者様が早期に退院して在宅医療へ移行するケースが増えていることを実感していたといいます。そうした中で、「退院後の患者様を支える受け皿は十分なのだろうか」という疑問を抱き、改めて在宅医療の体制を調べてみたところ、在宅クリニックは増えている一方で、在宅に特化した薬局が圧倒的に不足している現状が浮き彫りになりました。

既存の薬局でも在宅対応は行われていましたが、多くの場合は外来業務の延長線上に位置づけられており、訪問件数をこなすことが優先されがちで、薬剤師が専門性を発揮しながら主体的に関われていない印象がありました。

こうした状況を目の当たりにし、「在宅医療の需要に応えられる訪問薬局をつくりたい」「薬剤師がやりがいを持って働ける環境を整えたい」という思いが強まり、その思いが結実しておとどけ薬局の設立に至りました。

### おとどけ薬局の理念を教えてください。

**西野** おとどけ薬局は「訪問薬剤を人生最良の選択へ」という理念を掲げており、単に薬を届ける存在ではなく、病院や薬局へ足を運ぶことが難しい方にとって、安心して頼れるパートナーでありたいという思いを込めた言葉です。



そのため、私たちは24時間365日体制で患者様に寄り添い、医療・介護チームの一員として継続的に関わる姿勢を大切にしています。

この理念は薬剤師の中途採用においても重視しており、「在宅医療に関心がある」「これまで在宅に携わった経験をさらに深めたい」「訪問薬局で専門性を発揮したい」と考える方に仲間になっていただきたいと考えています。

## おとどけ薬局の設立はいつ頃なのでしょうか？

**西野** 2020年11月、代表の倉地ともう一人の薬剤師の2名体制で江東店を開局し、当初は小規模なスタートでしたが、地域の在宅ニーズに応える中で患者様が徐々に増え、体制強化の必要性から2022年7月に法人化し、墨田店を新たに開局しました。また、代表がMR時代に関わりのあったクリニックの医師とのご縁もあり、そのクリニックに隣接する物件で、通常の外来調剤を中心とした「おもいで薬局」を2021年2月に開業しました。さらに2024年5月には薬局機能にとどまらず、在宅生活を支える取り組みとして「おとどけ福祉用具」を設立し、福祉用具のレンタル事業も開始しました。

その後も在宅ニーズの高まりに応じて出店を進め、2024年10月に江戸川店、2025年1月に足立店、同年12月に中央店（銀座）を相次いで開局し、2026年2月には葛飾店の開局を予定しています。



西野圭太さん（経営企画部 人事部）

## 短期間で事業規模が拡大していますが、急成長を遂げたのには何か理由があるのでしょうか。

**西野** もともと江東店を拠点に墨田区や江戸川区など広いエリアを担当していましたが、患者様が增多につれて移動距離が長くなり、スタッフの負担が大きくなっていました。また、移動に時間を取られると訪問できる件数が限られてしまい、結果的に支援を必要とする患者様に十分対応できなくなっていました。

そのため「より多くの方に質の高い訪問薬剤管理を届けるに

は、店舗を地域に分散させることが最適である」と考え、ニーズが高まったエリアに積極的に新店舗を開設してきました。

現在は江東区・墨田区・中央区・港区・千代田区・台東区・荒川区・葛飾区・足立区・江戸川区に加え、千葉県の行徳・妙典エリアまで対応しており、東京23区のおよそ3分の1をカバーできる体制になっています。

今後は5年以内に23区全てに店舗を展開し、より多くの患者様に安心をお届けられる訪問薬局を目指していきたいと考えています。



## 訪問薬局の薬剤師さんはどのような働き方をするのでしょうか？

**西野** 一般的な調剤薬局では患者様が処方箋を持って来局されますが、訪問薬局の場合はご自身で薬局に足を運ぶことが難しい方のお宅を直接訪問し、お薬をお届けするところから業務が始まります.....



続きはQRコードからアクセスしてください → → →